新大広報

Public Relations Magazine of Niigata University

2017年卒業記念号 No.202

特集

卒業生・修了生からのメッセージ

いま、旅立ちの時

～多くの方々への感謝を胸に～

■学長からのメッセージ

真の強さを学ぶ。

新潟大學

卒業・大学院修了を祝して

新潟大学長
髙橋　姿
TAKAHASHI Sugata

新潟大学の卒業生並びに大学院修了生の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

今年も、たくさんの前途有為な卒業生及び大学院修了生を本学から送り出すことができますことは、我々新潟大学の教職員にとってこの上ない喜びであるとともに、誇りであります。

仲間たちと共に学び、研究に集中した日々、課外活動における辛かったことや嬉しかったこと、新潟大学での沢山の思い出を胸に、大きな夢と希望を持って明日からの新たな一歩を踏み出してください。

現在の我が国の状況を鑑みると、政治・経済分野でようやく少し明るい兆しは見えつつありますが、まだまだ先行きは不透明です。東日本大震災と引き続いての原発事故からの復興・再生がいまだ途上でありながら、昨年には熊本地震が発生して新たな被害を及ぼしました。昨年末には、本学と連携協定を結んでいる糸魚川市において、大火災が発生しました。その他、世界的なエネルギー問題、環境問題、テロ事件等々、様々な問題が国内外において群発しています。

そのような中で、近年における社会構造の急激な変化や科学技術の飛躍的発展は、社会が求める人材像にも大きな変化を生じています。即ち、地域においても世界のどこの地においても活躍できる、広い視点と汎用的能力を備えたグローバル人材です。さらに、新たな技術や事業の創出を可能とするイノベーション人材です。それは経済界・産業界だけにとどまらず、社会のあらゆる領域・地域においても同様です。

これから社会へ飛び立つ皆さんには、大きな期待と同時に不安もあるかと思います。しかし、本学で学んだ者は、タフでありしなやかでもある真の強さを持ち、人生の課題に立ち向かうことができます。まさに、これからの時代に適応可能な人材であります。活躍の場はそれぞれ違っていても、広い視野と教養、高い専門的能力、そして若さという強力な武器をフルに駆使して、自信をもって社会で活動してください。

皆さんの前途に幸多いことを祈ります。

特集　卒業生・修了生からのメッセージ

いま、旅立ちの時

～多くの方々への感謝を胸に～

卒業生・修了生の皆さん、新潟大学での大学生活はどんなものだったでしょうか？楽しかったこと。うれしかったこと。大変だったこと。一番の思い出は？皆さんの大学生活を振り返ってみてください。

Q1 学生生活で大変だったけど乗り越えたこと

教育学部
学校教員養成課程
阿部　詩織
ABE Shiori

一番大変だったことは、実習やセッションといった直接子どもたちを指導する場面です。今、何が子どもたちのためになるのか、自分には何ができるのか、毎回仲間とともに話し合いと実践を重ねました。辛いこともたくさんありましたが、その分楽しい思い出もたくさんあります。子どもが好き、子どものために何かしたいという想いと、一緒に頑張る仲間がいたからここまでやってくることができました。

これからの決意表明

大学でのたくさんの笑った経験、泣いた経験、全部の経験を生かしてこれからも子どものために自分ができることを全力で取り組む教師になりたいです。絶対なります!!友達・家族・先生方すべての方に感謝です。

法学部
法学科
山中　秀斗
YAMANAKA Hideto

私は新潟大学法律相談部の一員として、市民の方からの法律相談に携わりました。法律相談を引き受けたとき、相談者の切実な思いが伝わり、責任が重大であることを痛感しました。また、回答作成にあたり、明確な解決指針が導かれるわけではなく、具体的事案の解決というものが容易ではないことも実感しました。しかし、仲間たちと協力し、相談者の意向に沿う回答が作成できたと思います。回答後に相談者の方から感謝の言葉を頂いた時、大きな達成感を得ました。

これからの決意表明

春からは、一橋大学の法科大学院に進学します。困っている人々に貢献する弁護士になれるよう、新大法学部の講義で学んだ知識やゼミで培った議論を展開する力を基礎にして、更に精進していきたいと思います。

経済学部
経営学科
大橋　孝司
OHASHI Koji

私の学生生活で大変だったけど乗り越えたことは、部活動と学業の両立です。大学にはサークルなど数多くの団体がある中で私は本気で競技をやりたいと考え、部活動を選びました。私の所属する部活動ではテスト期間中であっても休むことなく練習を行います。そのため、部活動が学業の足枷であると感じることもありました。しかし、自分でやると決めた部活動を言い訳にしたくなく、自主的に時間を作ることで学業との両立を図ることができました。

これからの決意表明

私は春から国家公務員として働きます。国家公務員という仕事のスケールの大きさにやりがいを感じると同時に、責任の大きさに身が引き締まる思いです。これまで以上に一生懸命努力を重ねていきたいと思います。

理学部
自然環境科学科
石田　悠貴
ISHIDA Yuki

大学卒業が迫り、就職という選択肢もある中で、自分が将来どうなりたいのかの答えが見つからずに悩んだ時期がありました。友達や先輩、先生たちと話し、これまで過ごしてきた学生生活を振り返る中で、今行っている研究を極めたい、もっともっと学びたいという気持ちが生まれました。大学生活の4年間は、自分を見つめなおし、将来について考えるうえで非常に大切な時間だったと思います。悩んでいるときに支えてくれるような人達に出会えたことを本当に感謝しています。

これからの決意表明

春からは新潟大学の修士課程に進学します。大学4年間で感じたこと、学んだことを胸に、思う存分研究に励みたいと思います。その姿を見せることで、支えてくれる人の気持ちに応えていきたいと思います。

医学部
医学科
齊藤　翔太
SAITO Shota

私が学生時代苦労したことは、勉強です。大学での勉強は学年が上がるごとに専門性が増し難しくなります。医学科では単位の認定が筆記試験で行われることが多く、試験が終わってはまた試験という生活でした。そんな生活を乗り越えることができたのは仲間の存在があったからです。勉強だけでなく部活に励む人、アルバイトにいそしむ人、その3つを並立している人、私の周りにはタフでスーパーな人が多かったように思います。そんな彼らの存在が私にとって大きな励みとなっていました。

これからの決意表明

私は患者さんから信頼されるような医師になりたいです。そのためには、患者さんのことを常に考え、患者さんのために行動するような医師でなければなりません。また、最新の知識と技術を持つ努力をしなければなりません。私はこのことを胸に努力したいと思います。

医学部
保健学科
佐藤　千秋
SATO Chiaki

学生生活で大変だったことは、半年間にわたる看護学実習です。各領域2,3週間という期間の中で、多くの患者さんや看護師さんとの出会い、心に残る経験がありました。緊張や不安から思い通りにケアが実施できずに悩んだことや、患者さんやその家族の思いに涙したことなど、多くの経験をし、メンバーや先生に支えてもらいながら実習を終えることができました。実習は学生の視点や臨床でしか得ることのできない知識・技術を学べた、学生生活における大切な経験となりました。

これからの決意表明

春からは看護師としての一歩を踏み出すことになります。大学4年間で学んだことを生かし、実習で感じた思いや感謝の気持ちを忘れずに、患者さんやその家族の気持ちに寄り添える看護師を目指します。

歯学部
口腔生命福祉学科
石黒　明日香
ISHIGURO Asuka

学生生活において、大変だったことは、臨床実習です。

実習は不安や緊張を感じることも多かったのですが、クラスのみんなで情報交換をしあったり、励ましあってみんなで乗り越えられたのはいい思い出になりました。

これからの決意表明

これからは大学で学んだことを活かしながら働き、さらに新しいことにも積極的に挑戦していきたいです。

興味のあることについて、学ぶ姿勢を忘れないでいたいと思っています。

Q1

学生生活で大変だったけど乗り越えたこと

工学部
機械システム工学科

小澤　奎太

OZAWA Keita

私は大学からオーケストラに所属して4年間やってきました。今までろくに音楽経験もなく、初めて触れる楽器や知識に戸惑いながらもみんなで演奏会という一つの目標に向かい互いに励まし合えたためずっと続けることができました。他にも勉強、一人暮らし、バイトなどで予定が埋まりパンクしそうになることもありましたが、それぞれのところで色々な経験や人との出会いがあったためどれも頑張ろうと思い、続けられたことが乗り越えられたことです。

これからの決意表明

今までの大学生活では様々なものに触れて知識や見分を深めることができました。これからは学んだことを大学院での研究生活等に活かし、さらにこれからも経験したことのないものに飛び込んでいきたいと思います。

大学院
現代社会文化研究科
博士前期課程

谷　微

GU Wei

日本での留学生活も終わりに近づき、懐かしさや悲しみを感じています。振り返ると、忙しい日が多かったが、充実した、楽しい日々でした。専門の学習以外にも、日本語能力を上達させることと視野を広げることを目標にして、多様な国際活動に積極的に参加しました。それらの経験は、私の留学生活を豊かにさせ、自分自身を成長させてくれたと思います。皆さんも自分に何を求め、達成したいのかということを意識しながら学生生活を満喫してください。

これからの決意表明

人生は長いようで短いものです。各段階にある困難や悩みは違うが、諦めずに前に進む信念を変えることなく、これからの日本生活を迎えていきます。

農学部
応用生物化学科

野村　奈央

NOMURA Nao

研究室での研究や実験が大変です。配属前に専門科目の授業を履修していたにも関わらず、それを超えるさらに専門的な知識が必要で分からないことばかりでした。しかし、教授や先輩方が丁寧に指導してくださったおかげで少しずつ理解や技術が身についてきました。また、研究室のみなさんが明るく楽しいことも研究活動を継続して頑張れる理由だと思います。他にもサークル活動など様々なところで多くの方々に支えられた4年間でした。ありがとうございました。

これからの決意表明

春からは社会人です。大学での研究活動以上に分からないこと上手くいかないことの連続になると思いますが、目の前のひとつひとつに全力で一生懸命に取り組み、いろんなのことに挑戦していきたいと思います。

大学院
自然科学研究科
博士後期課程

中村　佳博

NAKAMURA Yoshihiro

博士後期課程になると研究活動だけではなく海外での研究成果発表そして海外誌への論文投稿を自身の力によって行っていかなければなりません。この時にいかに自分が先生方や他の学生の助けによって研究活動を行っていたかを痛感しました。博士課程3年間での数多くの経験で多少は研究者として自立するための能力を得られたと思います。これまで研究をサポートしていただいた先生方・後輩には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからの決意表明

春からは非常勤研究員として産業総合研究所にて研究を継続します。まだまだ研究者としては経験や知識が足りないことは痛感しています。常に謙虚に様々な人の意見を聞き、勉学を怠らず研究を行っていきます。

大学院
教育学研究科

須藤　翔平

SUDOU Shouhei

私は研究において、新たな発見をする難しさを痛感しました。考えても分からず、自分の研究に行き詰まりを感じ、上手くいかないことが多々ありました。しかし、先生方から懇切・丁寧な指導をしていただいたり、仲間と助け合ったりすることで、打開する方途を見出し、その都度何とか乗り越えることができました。研究することは苦労が絶えませんでしたが、それ以上に面白く、自分の成長につなげることができたと思います。

これからの決意表明

これから一人の教員として教壇に立ちます。未来を担う生徒のために、教える立場、支える立場に立って、責任と自覚ある行動をしていきたいと考えています。また、学び続ける姿勢を忘れずに努力を続けていく覚悟です。

大学院
保健学研究科
博士前期課程

水戸部　優太

MITOBE Yuta

私は社会人枠で入学しました。日中は仕事、夜は研究を行う日々が続き、大変苦労しました。苦労した甲斐があり、国内・国外での学会発表を行い、国外ではBest Poster Awardを頂き、研究論文は海外雑誌へ投稿し、掲載されました。2年間という長いようで短い期間の中で成果を出すことができたのは先生方に常日頃からの丁重かつ的確なご指導が頂けたからだと思います。自分が行った研究成果が患者さんへの一助になると信じ、今後も研究に勤しんでいきます。

これからの決意表明

私は博士後期課程へ進学し、博士前期課程で明らかになったことをより深く研究します。様々な人と協力し、コミュニケーションを図りながら、研究を進めていきます。仕事・研究・子育て、全部頑張ります!!

大学院
医歯学総合研究科
博士課程

須田　大亮

SUDA Daisuke

私が専攻した、医歯学総合研究科口腔生命科学専攻では在学中に歯科の臨床と基礎の研究の両方を大いに経験することができますが、それらを両立させることが大変であったと思います。しかしながら助けてくださった先輩や先生方のおかげで乗り越えることができました。臨床と研究の両立によって歯科に対する広い視野が得られ、今後進みたい方向がより明確になった気がします。

これからの決意表明

得られた知識・経験を生かして臨床に従事するだけでなく、研究もバランスよくこなしていきたいと考えています。そうすることでお世話になった人々や大学に貢献することができるのではないかと考えています。

大学院
技術経営研究科

野尻　大和

NOJIRI Yamato

学生生活で大変だったのは、やはり仕事と学業の両立です。技術経営研究科は、ほとんどの学生が一般企業に勤める社会人です。私も週に3〜4日は昼間に仕事、夜間は大学、講義で課題が出れば週末に時間を割くという生活を2年間続けました。本当に大変でしたが、何より学びで得たもの、業種や年齢の違う（下は20代から上は60代までの）熱い仲間達と「第二の青春」、「濃い2年間」を過ごすことが出来たのはかけがえのない財産となりました。

これからの決意表明

私の好きな言葉に“Never too late”という言葉があります。入社10年、30代半ばになって再び大学院に通うことになるとは夢にも思っていませんでしたが、今後もこの言葉を胸に新しいことに挑戦し続けたいと思います!

Q2

卒業するにあたり後輩へ一言

医学部
保健学科

山際　惇也
YAMAGIWA Junya

これからの決意表明

春から大学院に進学します。研究スキルと知識を吸収し、臨床の最先端で活躍できる診療放射線技師になれるよう努力し続けます。

大学生活では講義や臨地実習、卒業研究を通し様々なことを学びました。私は幅広い知識を持った診療放射線技師になることを目標とし4年間頑張ってきました。学びだけではなく、向上心を持ち何か一つを続けるということは簡単なことではありませんが、必ずこれからの人生に役立つと思います。皆さんも興味のあることを続けてみてください。そうすれば必ず有意義な大学生活を送れると思います。

歯学部
歯学科

中村　彬彦
NAKAMURA Akihiko

これからの決意表明

研修医として歯学科で学んだ技術・知識を社会のために役立てていくと同時に、患者さんから多くのことを勉強させていただきたいと思います。研修後は院へ進学して歯科医としての専門性を磨いていきたいです。

6年間は意外と短いものです。この限られた時間の中で自分に何ができるか、何をしたいか、を考えてみて下さい。「後で」という言葉は危険で、私は色々なことを後回しにしているうちに卒業になってしまいました。考えたら行動してみて下さい。幸い歯学科は短期留学など魅力的なものがごろごろ転がっています(意識しないと目に入らないかもしれませんが)。6年間をどのように使うかは皆さん次第です。ユニークな6年を築き上げて下さい。

教育学部
学校教員養成課程

前嶋　啓子
MAEJIMA Keiko

これからの決意表明

来年度から教材関係の企業で働きます。好奇心を忘れずに、自分らしく働くことが目標です。教師になる友人も多いので、離れていてもお互いに励まし合いながら働くことができればいいなと思います。

私自身が常に思うことがあって、それは「正しさ」は人によって違う、ということです。自分の常識は、周りの人の非常識かもしれません。また、絶対だと思っていたことがある日突然崩れてしまうこともあります。色々なことがありますが、自分を支えるためには積極的に外に出て、世代を越えた沢山の人から刺激を受けることが大切だと思います。その都度深く考えたり、時には開き直ったりしながら、様々な価値観と出会ってみてください。

経済学部
経済学科

津野　健太
TSUNO Kenta

これからの決意表明

私は4月から忍者のアニメを制作している会社で働きます。行く行くはプロデューサーとなって観て良かったと思っていただけるアニメを制作したいと思いますので皆さんご視聴よろしくお願いします!

才能という言言葉があります。勿論センス、スキル的な意味もあります。ですが私はこれともう一つ、自分は絶対大丈夫だと信じる力、という意味もあると勝手に思っています。就活に際して私には何のセンスもスキルもありませんでしたが自分を信じる力だけはありました。皆さんにも進路を決める時がいずれ来ると思います。どの道も楽ではないと思いますがそこで腐らずに最後まで自分自身を、自分の才能を信じてあげてください。あとは、学生生活を楽しんでください。

医学部
医学科

鈴木　伸哉
SUZUKI Shinya

これからの決意表明

来年度からは医師として、地元の静岡の医療に携わっていきます。ここ新潟大学で学んだこと、そして医師を志しはじめたころの初心を決して忘れることなく、誠心誠意、患者さんと向き合っていきます。

卒業間近のこの時期になって思うのは、大学生活は長いようであっという間だったということです。なまじ時間があると思ってだらだらしていると、時間は光の速度で過ぎ去ってしまいます。(実体験です)限られた、残された時間を有効利用するために、自分のやりたくない、興味のないことは最低限やって(←ここが重要です)、やりたいことに時間をあて、興味のあることには労力もお金も注いで全力で臨むように心掛けてみてください。

工学部
電気電子工学科

石井　秀樹
ISHII Hideki

これからの決意表明

大学４年間では、本当に様々なことに取り組んできました。環境の変化に慣れないことも多くありましたが、今までの経験を活かしてさらに多くのことにチャレンジしていきたいです。

大学で過ごす４年間はあっという間です。目的を持って物事に取り組みましょう。中学高校とは異なり、大学では学生自身が時間割を決めることができます。休業期間はとても長いです。興味のあることに対して積極的に計画・行動してください。後輩の皆さんが有意義な学生生活を送れるよう願っています。

Q2
卒業するにあたり後輩へ一言

農学部
農業生産科学科
立原　可南子
TACHIHARA　Kanako

4年生になり、研究室に正式配属されてからこの1年間あっという間でした。実験動物に子豚を供試しているため、暴れる子豚からサンプルを採取したり慣れない作業は大変でした。実験も手取り足取り先生や先輩、研究室の仲間に教えて頂き、ようやく一人でできるようになってきました。みなさんも先輩や研究室の仲間とのつながりを大切にして、大学生活を過ごしてください。

これからの決意表明

春からは新潟大学大学院に進学します。先に社会に出る友人達に負けないよう、これからも研究に励み、実りある2年間にしたいです。また、常に高い目標を持ちながら、自分の夢を目指して頑張ります。

大学院
教育学研究科
吉田　朱里
YOSHIDA Juri

6年間という学生生活は、本当にあっという間でした。様々な出会いから、人とのつながりの大切さを実感し、多くの出会いがあったからこそ、充実した学生生活を送ることができたと思っています。そして、とにかく楽しかった思い出がたくさんです!!後輩のみなさんには、やりたいこと、今しかできないことを存分に楽しんでもらいたいなと思います。そして、出会いや人とのつながりを大切にしていってほしいなと思います。

これからの決意表明

春から社会人にあたり、とにかくがむしゃらに頑張っていきたいと思います。先に社会人になった同期に追いつけるように、その時々で自分にできる精一杯のことをやっていきたいと思います。

大学院
現代社会文化研究科
博士後期課程
尾山　裕介
OYAMA Yusuke

大学院で社会人学生として仕事と研究の両立ができたのも多くの方々のご支援やご協力があったからだと思います。大学院進学に対する職場のご理解や指導教官や研究室の仲間からのアドバイスがなくては何一つできませんでした。後輩の皆さんも大学では多くの出会いがあると思います。一つ一つの出会いを大切にして周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、充実した大学生活を過ごして下さい。

これからの決意表明

今までお世話になった方々に恩返しできるように大学院での経験や研究から学んだことを社会に還元したいと思います。そして、現状に満足することなく、向上心を持って何事にも取り組みたいと思います。

大学院
自然科学研究科
博士後期課程
原　一馬
HARA Kazuma

私は，金子・加藤・新保・馬場・Bas研究室(材研)に博士課程修了までお世話になりました。材研では，日本人だけではなくタイや韓国など世界各国から優秀な研究員が集っており、世界の先端研究だけではなく、世界基準の考え方やグローバルコミュニケーションを学ぶことができました。この様に、新潟大学では多くの世界と接する機会があります。ぜひ、後輩の皆さんも世界で活躍できる人材となるべく、新潟大学で多くの世界と触れてほしいと思います。

これからの決意表明

今後は材研で培った広い視野，幅広い知識，そして，議論する力，プレゼンする力など，多くのことを自分の基盤とし、常に新しいことにチャレンジする精神を忘れずに，世の中の役にたつ仕事をしたいと思います。

大学院
保健学研究科
博士前期課程
矢島 圭祐
YAJIMA Keisuke

大学生活はあっという間に終わってしまいます。その中で日々をどれだけ充実させられるかは自分次第です。勉学やサークル、アルバイト、旅行など自分がやってみたいと思うことにどんどんチャレンジしてみてください。チャレンジして得られた経験は、後に活かせる貴重な経験となり、どんなことでも自分自身の成長に繋がります。大学生の時にしかできないような数多くの経験をして有意義な学生生活を送ってください。

これからの決意表明

春からは地元を離れ東京で社会人として独り立ちをします。学生生活とは異なる新たな環境での生活は不安でいっぱいですが、大学生活で得た知識や経験を活かし、精一杯頑張りたいと思います。

大学院
医歯学総合研究科
修士課程
鳥羽　宏司
TOBA Koji

大学院生活は研究漬けの生活と思っている人も多いと思いますが、どう過ごすかは自分次第。もちろん研究は毎日取り組みましたが、僕は寝る間を惜しんで趣味もアルバイトも詰め込んだ生活を送りました。とても充実した生活で悔いはないです。就職してからの生活は何十年も続きますが、院生として過ごせるのは今だけです。院生でしかできない研究や学会発表のチャンスがあれば迷わずやっておくべきです。勉強も遊びも今こそ充実させるべきだと思います。

これからの決意表明

夢であった病院の管理栄養士になれたので、これからは仕事を第一に、そして遊びを第二に考えて生きていきます。また市民病院に入れたのはここでの経験のおかげだと思っているので就職後も研究に携わりたいです。

大学院
技術経営研究科
梁　舒晴
LIANG　Shuqing

2014年の秋、3年務めた会社を辞めて、思い切って日本に留学しました。最初は日本語を話すことさえできず、大変苦労しました。一番印象に残っているのは、初めての発表です。皆時間内で上手く分析しましたが、私だけ時間制限のことばかり心配してしまい、結局何も説明できませんでした。今のように卒業式を迎えることができるのは、いつも助けてくださる先生と友達のお蔭です。本当にありがとうございました!

これからの決意表明

MOTに入ったことで、学生だけでなく、優秀な社会人の方々と付き合うことができ、授業とは違う日本企業や人間関係のことを学ぶこともできました。ここで体験したことを今後の仕事に活かしていきたいと思います。

新潟大学全学同窓会

全学同窓会　野本憲雄会長インタビュー

伝統ある各学部同窓会の枠を超えた連携・協力を目指して、平成18年に設立された全学同窓会の歩みも10年を超えました。会長の野本憲雄さんに全学同窓会の活動について伺いました。

全学同窓会の理念や目標について教えて下さい。

目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図る」ということです。この目標に向けて、会員への情報提供・サービスを充実し、大学・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量がある同窓会づくり」を進めたいと考えています。

全学同窓会の活動や事業について教えて下さい。

広報紙「雪華」の発行、メールマガジンの配信、交流会・講演会の開催、大学との懇談会の開催、「新潟大学カード」(クレジットカード)事業、母校支援事業、学生さんのための「雪華支援事業」などを行っています。

「雪華支援事業」では、学生さんの活動に年350万円程の支援を行っています。また、五十嵐、旭町両キャンパスの体育施設のトレーニング機器の充実のために１千万円ずつ寄贈してきました。「新潟大学カード」は入会費・年会費無料のクレジットカードです。多くの皆様にご利用いただき、収益は学生さんの支援に充てています。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会いただきたいと思います。

学生、卒業生に一言お願いいたします。

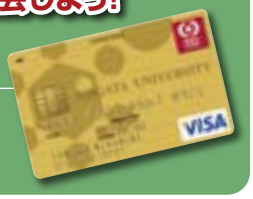
母校が教育・研究の実を挙げ、母校の評価が一層高まることは、同窓生みんなの願いです。何よりも教職員、学生の皆さんのご努力・ご活躍に期待しますが、同窓生が社会で活躍され、同窓会にご協力・ご支援をいただいて、母校と学生さんを力強く応援したいものです。卒業生の皆様の前途に幸多かれと祈り、ご健康・ご活躍を祈念申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/
【新潟大学全学同窓会事務局】
TEL：025-262-7891（受付時間　平日10：00～15：00）　FAX：025-262-7892
E-mail：dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

卒業したら…新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードはVISA付きの国際カード
入会費・年会費無料

新潟大学カードに関するお問い合わせは…
新潟大学全学同窓会事務局
TEL:025-262-7891（受付時間 平日10:00～15:00）
E-mail: n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



「新潟大学基金」にご協力ください

新潟大学には「新潟大学まなび応援基金」と「新潟大学基金」の2つの基金があります。2つの基金を有効に活用し、様々な事業の支援を行っています。

ご寄附をいただいた場合、税法上の優遇措置が受けられるほか、本学独自の特典も用意しております。皆様からのご支援をお願いします。「新潟大学まなび応援基金」と「新潟大学基金」の詳細はホームページをご覧ください。

新潟大学まなび応援基金（平成28年創設）

■目的

「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」をはじめ、経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援事業を行う

■税法上の優遇措置

個人:税額控除と所得控除を寄附者が選択　法人:全額損金に算入可能

■支援事業

- 入学料、授業料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- 学資金を貸与又は給付する事業
- 学生の海外への留学に係る費用を負担する事業
- TAやRAの業務を行う学生に対する手当等を負担する事業

※TAとは、優秀な大学院生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行わせる制度です。
※RAとは、研究プロジェクト等に、優れた大学院生（博士課程在学者）を研究補助者として参画させる制度です。

上記事業のうちから支援の必要性の高い事業に活用させていただきます。

★支援事業を指定することはできません

新潟大学基金（平成21年創設）

■目的

新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、研究活動支援、学生の厚生施設整備などを推進する事業を行う

■税法上の優遇措置

個人:所得控除　法人:全額損金に算入可能

■寄附目的

- 教育活動の支援
- 学生の修学支援
- 研究活動の支援
- 地域・社会への貢献活動支援
- キャンパス等施設整備の支援
- 病院運営の支援
- 国際交流活動の支援
- 大学全体の支援

★寄附目的を指定することができます

基金を活用した主な事業

- 輝け未来 !! 新潟大学入学応援奨学金の支援
-
- 最新のウエートトレーニング機器導入の支援
- 附属図書館の設備整備の支援
-
- アーチェリー場整備の支援
-
- 国際交流活動の支援
- 旭町地区課外活動施設整備の支援

【基金ホームページ】
http://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/
【お問い合わせ先】
新潟大学サポーター連携推進室
TEL：025-262-5651・6010（平日9：00～17：00）
E-mail：kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

【新大広報 Back Number】http://www.niigata-u.ac.jp/university/pr/publications/shindaikoho/

新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学ホームページ　**http://www.niigata-u.ac.jp/**

2017年卒業記念号 [No.202]
2017年3月発行

編集・発行／『新大広報』学生編集スタッフ
新潟大学学務部・新潟大学広報室
印　　刷／㈱第一印刷所

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。